

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：特別支援教育費 目：特別支援教育総務費

事業名 衛生設備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 体育健康課 学校保健係 電話番号：058-272-1111 (内 3593)

E-mail：c17769@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,641 千円 (前年度予算額： 1,856 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,856	0	0	0	0	0	0	0	1,856
要求額	1,641	0	0	0	0	0	0	0	1,641
決定額	1,641	0	0	0	0	0	0	0	1,641

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

特別支援学校には、様々な疾患のある児童生徒が在籍しており、中には、十分な手洗いが困難な児童生徒がいる。今般、感染症の流行による一層の手指消毒等が重要視されている。

また、丁寧な歯磨きが困難な児童生徒もおり、最後の永久歯が生えるまでに予防対策を実施する必要がある。

(2) 事業内容

県立特別支援学校に通う児童生徒を感染症から守り、身体の健全な発達に資する手指消毒薬を購入する。

虫歯予防効果の高いフッ化物洗口を実施するため、必要な試薬・コップ等を購入する。

(3) 県負担・補助率の考え方

・ 県 10 / 10

県立特別支援学校児童生徒の衛生管理であり、県負担が妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
消耗品費	1,641	自動手指洗浄機用消毒液,フッ化物洗口試薬、コップ
合計	1,641	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

学校保健安全法 第4条

学校の設置者は、その設置する学校の児童生徒及び職員の心身の健康の保持増進を図るため、当該学校の施設及び設備並びに管理運営体制の整備充実その他の必要な措置を講ずるよう努めるものとする。

・第3次岐阜県教育ビジョン

基本方針5 学びを支援する安全・安心な教育環境づくり

目標25 学校施設の整備の充実

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
児童生徒の感染症及びむし歯予防として、手指消毒及びフッ化物洗口を継続して実施することで、児童生徒の健康管理・身体の健全な育成に寄与する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

感染症予防、むし歯予防については総合的な予防対策が必要であり、消毒液やフッ化物洗口のみでは、その効果を図ることができないため。

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
特別支援学校養護教諭会議で、フッ化物洗口の実施方法を周知した。
感染症対策として、登校前、登校後、給食前等において適切に手指の消毒及び手洗いを行うよう周知した。

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
平成21年度の新型インフルエンザによる集団感染は発生していないが、新型コロナウイルス感染症での集団感染が発生し、「感染症対策衛生物品緊急整備事業費（令和2年度6月補正）」等で手指消毒等の対策を実施した。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	児童生徒の健康管理の為、本事業は無くってはならないものである。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	毎日の手指消毒及び定期的なフッ化物洗口の実施により、児童生徒の健康管理・身体の健全な育成に寄与した。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	実施に当たっては学校歯科医から、薬剤の管理については学校薬剤師からの指導を仰ぎ、効果的に事業を進めている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症への対策が必要である。また、障がいにより「ぶくぶくうがい」がうまくできない児童に対する指導を継続する。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 感染症の集団発生及びむし歯の予防に向けて、適切に事業を実施していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	